



大新だより

令和7(2025)年2月3日
和歌山市立大新小学校

大新教育「よりよい子どもを育てる アンケート」集計結果について

運動場の金柑と山茶花



今年は4年ぶりに節分が2月2日(日)に巡ってきました。子どもたちも豆まきを楽しんだことと思います。学校では、2月3日(月)の給食が節分の献立でした。

さて、運動場にたたずむと、紅色の山茶花(さざんか)が咲き、金柑の実がひっそりと香りを漂わせています。大新小学校では、毎年この時期に実がなります。厳しい寒さの中にも、確実に春は近づいているのですね。

そんな中、子どもたちは寒さをものともせず、元気に運動場で遊んでいる姿が見られます。冬の澄んだ空気の中、子どもたちの笑顔と元気な声が、大新小学校を活気づけてくれます。

さて、昨年12月に大新教育「よりよい子どもを育てるアンケート」を実施いたしました。お忙しい中ご回答いただき、ありがとうございます。集計結果を裏面に掲載していますので、ご覧ください。

学校では、この保護者アンケートと、子どもたちへの「よりよい大新小学校をつくるためのアンケート」の2種類を実施いたしました。

保護者アンケートの「A:小学校全体について」は、概ね肯定的な評価を9割以上いただいております。しかし、「いじめをなくす学校・学級づくりへの取組」については、10%の方が「わからない」と感じておられます。特別の教科道徳や学級活動、総合的な学習の時間(※)、また外部講師の方による出前授業など、毎日の取組の中で繰り返し子どもたちと学習している様子を保護者や地域の方にご覧いただけるよう、地域とともにある学校づくりに取り組んでいきたいと思っております。

「B:お子さまについて」も、概ね肯定的な評価をいただきましたが、まだ課題が感じられる項目がありました。「学校での出来事をよく話す」や「誰にでもあいさつができる」については、学校と家庭の連携を一層密なものにして取り組む課題と痛感しております。

児童アンケートでも、「学校でのできごとをよく話す」「気持ちの良いあいさつができる」に課題が見られます。「おはよう」の一人の呼びかけが「おはよう」と笑顔でかえってくる。教室いっぱいひろがった挨拶が笑顔に変わる学校。そんな学校での出来事をご家庭でいっぱい話してもらえよう、教職員一同一層の創意工夫・研鑽に励み、取り組んでまいりたいと思っております。引き続き、本校の教育活動にご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

※総合的な学習の時間…3年生から6年生は週2時間、学校が地域や学校、児童の実態等に応じて、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習をする時間。